

感謝 JUSINJU

願法みつる

今年の大会には百六十六名のご参会を賜りました。また先行した誌上大会には、遠く沖縄・北海道を含めて多くの地域から、百六十名ものご参加を戴きました。

大会次第の中には、お気持ちに触る齟齬もあつたかと思いますが、当日、にこやかなお顔で帰られた皆様のお姿に甘えさせて頂きます。誠に感謝の一言に尽きます。

大会では、個性豊かな選者方に抜かれた素敵なお句の数々、これも宝物です。その内容は本誌をご覧下さい。様々な句姿は百花繚乱、まさに初夏のお祭に咲き乱れた花々の競演の様でした。ごった煮とも寄せ鍋とも言われるさいたま調川柳に相応しい数多の句は、今後の吟社川柳活動にとって、良い手本にもなります。

ところで今大会では、新規に製作した吟社「のぼり旗」を披露させて頂きました。社旗というには些かおこがましいものの、吟社一同が心寄せ合うよすがとなればどの願いではありました。ご参会の皆様のお目には、どの様に映ったことでしょうか。お知らせ頂ければ幸いです。

感謝の心を表すために我々は、日々の姿勢をより正しくそして明るく保持するとともに、次なる大会へ向けて更に衆知を結集したいと考えて居ります。来年も多くの方々が我が社の「のぼり旗」を見に来て頂くためにも。

八月号 目次

堅太郎句抄(八)	表紙	2
巻頭言 感謝ということ	願法みつる	1
彩玉集——同人吟		2
さいたまのサークル&吟社「たぶの木川柳会」		5
時空を超えて 篠崎堅太郎のエッセイ		6
雑詠	願法みつる選	12
七七句	松田重信選	20
交替鑑賞(六月号より)	荻原 鹿声	24
初歩添削講座「傘」雑詠	加藤孤太郎	26
題詠 「差す」木崎 栄昇 選		30
「閉まる」奥木田冬花 選		30
「核」岡田 時雄 選		32
第48回さいたま川柳大会		
同 誌上大会		
古丘の世界	文・今村 寿子	52
第四回彩葉賞作品募集		52
暑中風交		53
インフォメーション		57
編集さろん	表紙	3
研究会内	表紙	4
表紙(題字・清水 美江 写真・千葉 古丘)		

川柳

さし

第48回



ひまわり